



水保通信

ミニ版 第2号
水保まちづくり・広報部
平成21年12月15日発行

メールアドレス : mizuho@usennet.ne.jp

ホームページ : <http://www.usennet.ne.jp/~mizuho/>

地球市民の森、県道、通学路、 国道の現状と進捗等の説明・勉強会ノート

平成21年11月21日(土曜日)午後8時から、水保集落センター2階和室において、県や市から8名の行政職員の方々にお越し頂き水保町周辺の公共事業についての説明・勉強会が開催されました。これは、事業計画の内容を知り、意見交換の中で、双方の理解と信頼関係の下に推進されることが望ましいとの主旨で開催されました。その取材ノートを掲載します。



「地球市民の森」

地球市民の森は、造成・園路・トイレ・上下水道等、基本部分は県で行い、植樹、枝払い、草刈などは県民が応援するモデルとして全国的にも注目を浴びている。平成12年に工事開始し、総面積約42.5ha、平成31年完成を目指して、五つのゾーンに工事区分して、工事推進中。現在は、「出会いのゾーン」「ふれあいゾーン」「集いのゾーン」の17.8haが完成し、供用中。一番下流側の「ふるさとゾーン」は、未着工。正覚寺の墓周辺の「里の森ゾーン」は、平成19年着工し、平成24年完成を目指して整備中。橋梁の工事は、ほぼ完了しており12月上旬に検査する予定。今年、浜街道側の基盤改良工事、植栽工事、園路の整備工事を行う計画。来年(平成22年度)は、「出会いのゾーン」と「里の森ゾーン」の間を通過する予定となっている国道477バイパスの上を公園路が横切る橋梁工事を行う計画。11月30日をもって、仮通学路として使っている部分が、正式に都市公園となり供用されます。従って、今年度12月1日より園路内通路が本通学路となります。

<<本通学路について>>

PTA・子ども会から、仮通学路から本通学路となった園路の整備に関する事項

※要望:①西町側から公園に入ったお墓の下の園路部分は、敷いてある石が大きく歩きにくいので、改善(アスファルト舗装)をお願いしたい。

②園内の木橋から小学校側にかけての園路両脇が、草木で見通しが悪くならないよう改善(芝生植栽)をお願いしたい。

(回答)現工事の期間内に実施できるようにします。

(裏面に続く)

(前面からの続き)

通学路検討会からの要望:

①横断歩道と、お墓の下付近の防犯灯をお願いしたい。

(回答)防犯灯の設置要望に関しては、環境にやさしい公園造りの基本から、太陽光発電や風力発電を利用した照明設備が一つの候補となるが、高額ではあるが検討します。

「県道：美崎－今浜－水保線」

現在は、美崎の地先で工事中。平成19年度～平成29年度アクション・プログラムの後期(平成25年以降)にあがっているが、国道477バイパス事業の進捗を見ながら、今浜－水保線を事業化着手する計画となり、現在は法線案もない状態である。又、県財政状況も厳しい状況で事業進捗も遅れ気味で、着工年度は未定。

明富中学校裏手のボックス・カルバート(平成8年度に施工)の撤去や、旧堤防の平地化についても、今浜－水保線の事業化した時点で工事する予定ではあるが、現時点では決定事項にはなっていない。西町側の新通学路と交差する部分の安全確保や墓地移転案件については、議事録にも残っており県や市は認識しているので、他事業を含めて総合的に対応を検討する。

「国道477バイパス道路」

幸津川地区は、ほぼ用地買収が完了し、今年度から盛土工事を計画。立田地区は、今年度は用地交渉に入る予定。洲本地区は、11月末に用地の筆界確認を計画し、用地測量の準備に入っている状態。

発電機購入しました

本年度、「安心・安全なまちづくり活動支援事業」の一環として、発電機を購入致しました。防災訓練や非常事態に備えて、有効活用される予定です。購入にあたり、赤い羽根共同募金の助成をいただきました。



閲覧用コスモスバックナンバー



広報部では、コスモス50号発刊記念事業として、これまで発刊された「コスモス」を町民の皆様に見て頂けるよう、1号～50号のバックナンバーをコピー、ファイリングしたものを、「ふれあいの家」「集落センター」「樹下神社社務所」に置きました。「コスモス」には、当時の自治会の活動状況だけでなく、「水保の歴史」を始めとして、いつまでも読み続けられる内容もたくさん掲載されていますので、どうぞご覧になって下さい。

《水保農業組合より》今年の5月に、精米機が新しく設置されましたが、ヌカの持ち帰り忘れが時々あります。ヌカは各自持ち帰りが原則となっておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。